

大日本スクリーンとリンテック、 シースルーグラフィックスのビジネス展開に関する協業を開始

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区／以下、大日本スクリーン)のメディアアンドプレジジョンテクノロジーカンパニー(社長：青木 克彦)はこのほど、リンテック株式会社(本社：東京都板橋区／社長：大内 昭彦／以下、リンテック)との間でシースルーグラフィックス[※]の印刷システムおよび出力素材の販売に関する協業に合意。日本国内において、ウインドーディスプレイ市場の拡大に向けたビジネス展開を、両社のグループ企業を含めた体制で推進していきます。

すでに海外においてトレンドとなりつつあるシースルーグラフィックスは、公共交通機関や店舗のガラス面への広告掲示など、景観や外観を保ちながら大判サイズの広告を表示できることから、近年、サインディスプレイの手法として日本国内でも注目を集めています。しかし従来は、完全遮光を防ぐための仕組みとして穴開き素材への印刷が一般的だったため、強度や耐久性に加え、汚れによるシースルー効果の低下などの課題がありました。また、ライセンスに関わる複雑な手続きが必要だったことも、国内における普及の妨げの一因となっていました。

このような動向を背景に大日本スクリーンでは、自社のインクジェット印刷技術と、世界中の国々でシースルーグラフィックスのライセンスを所有する英国・コントラビジョン社(Contra Vision Ltd.)のシースルー関連技術を融合。同社のライセンスを受け、UVインクジェット印刷システム「Truepress Jet2500UV」に世界で初めてシースルーグラフィックスの自動生成機能を搭載し、2011年9月に販売を開始しました。これにより、シースルー効果を得るために必要な、画像のデジタル加工を自動化したほか、穴開き素材を使うことなく、通常の透明フィルムによるシースルーグラフィックスの制作を可能にしました。さらに、「Truepress Jet2500UV」は最大7層までを同時に印刷できるため、コントラビジョン社の持つ10種類ものシースルーグラフィックスのパターン全てをサポートできる、唯一の印刷システムとなっています。

今回の協業では、商業目的のシースルーグラフィックスの最終成果物に対して発生するコントラビジョン社へのライセンス料を、リンテックが製造する出力素材に含めて提供。ユーザーはこの素材を使用することにより、複雑だった従来のライセンス料の支払い手続きを行うことなくシースルー印刷が可能になり、商品としてシースルーグラフィックスをエンドユーザーに販売できます。また、同社は使用許諾に関する認証ラベルを発行し、同社製の出力素材を使用したユーザーの権利を保護します。なお、出力素材と「Truepress Jet2500UV」の販売は大日本スクリーンのグループ企業である株式会社メディアテクノロジー ジャパン(本社：東京都千代田区／社長：馬場 恒夫)が行い、同社への出力素材の供給をリンテックのグループ企業であるリンテックサインシステム株式会社(本社：東京都目黒区／社長：小島 一仁)が行います。

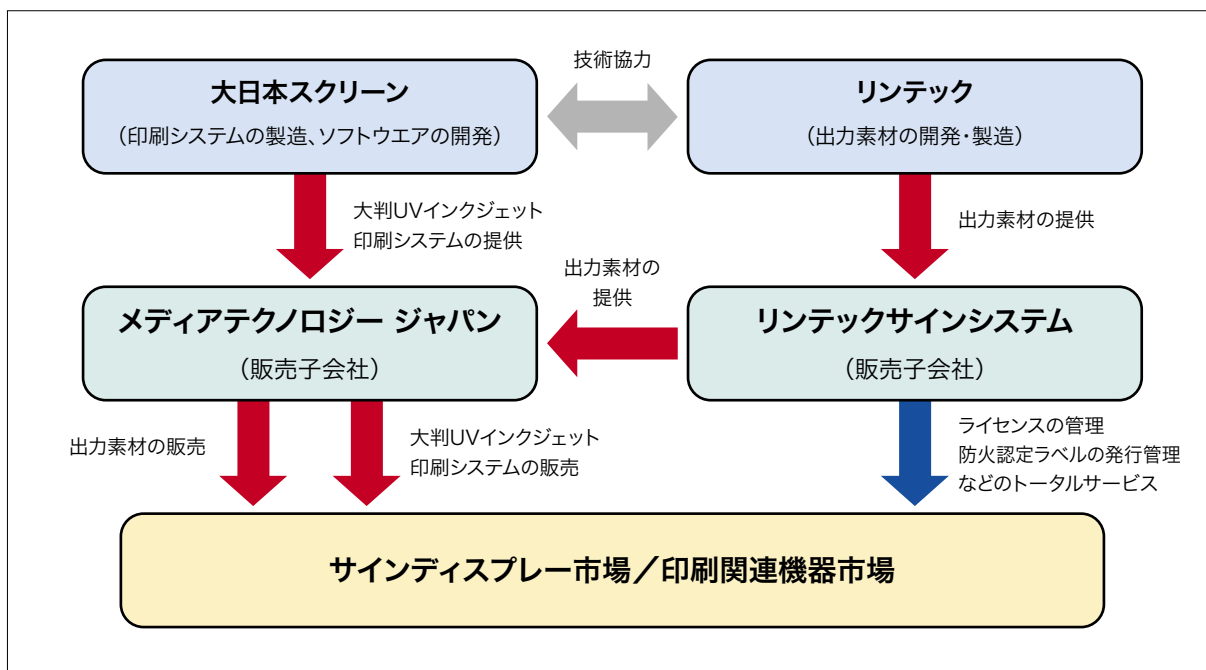
両社グループは今後も、最新のニーズに応える高付加価値アプリケーションを提供し、大きな可能性が見込まれるサインディスプレイ市場の拡大を図っていきます。また、併せて屋外・屋内用粘着シート、デジタル壁紙、内装用装飾シートなど建装材分野においても、インクジェット印刷の利用拡大を進めていきます。

※ シースルーグラフィックス

英国・コントラビジョン社がライセンスを保有するサインディスプレイ手法の一つで、主に公共交通機関や店舗のガラス面の広告に使用される。ガラスの視認性を保ちながら、表裏で異なるデザインを表現できるため、インパクトのある広告表示や空間演出が可能。なお、商業目的での制作には同社のライセンスが必要となる。



Truepress Jet2500UV



シースルーグラフィックス提供の流れ

☆ これらの画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。
(www.screen.co.jp/press/nr-photo_2009-2011.html)

■ 大日本スクリーン製造株式会社 メディアアンドプレシジョンテクノロジーカンパニー社長 青木 克彦のコメント

当社は、最先端の画像処理技術を応用し、各種印刷業界向けのインクジェット印刷機の開発・販売を進めてきました。「Truepress Jet2500UV」は、業界トップクラスの品質を誇る高精細なUVインクジェット機として開発したもので、2010年には、高画質化が求められるサインディスプレイ業界の多様な用途に対応するため、マルチレイヤー機能を開発し、標準搭載しました。そしてこのたび、これらの技術を最大限に活用できるアプリケーションとして、シースルーグラフィックスの自動生成を具現化しました。今回のリントック社との協業は、日本国内におけるウインドーグラフィックスの市場拡大に向けて大変喜ばしいことであり、心から感謝しています。今後も協力関係を深め、日本のサインディスプレイ業界における付加価値の向上と、さらなる活性化に貢献したいと考えています。

■ リントック株式会社 産業工材事業部門長 森川 秀二のコメント

当社では、大判デジタルプリントによる屋外サインや壁面装飾用素材の出力・施工サービスを全国展開するとともに、専用の出力素材やラミネートフィルム、そしてラミネーターなどの周辺機器を全国の出力・施工店に販売しています。このたびのシースルーグラフィックスのビジネス展開に関する協業により、大日本スクリーンのインクジェット印刷技術と、当社の高品質な出力素材、認証ラベル運用システムが相乗効果をもたらし、サインディスプレイ業界全体のさらなる発展に貢献するものと確信しています。今後当社としても、既存の出力・施工店ネットワークとも密接な連携を図りながら、シースルーグラフィックスによるウインドーディスプレイ市場の拡大に努めていきます。